

令和5年度システム改善・資源開発検討会議（縦レビュー会議）から

抽出された課題に対する取組報告について

（１） 課題

介入拒否により、面接・モニタリングが困難な対象者への見守り方法を検討する必要がある。

（２） 取組内容

別紙「令和5年度の縦レビュー後の取組みプロセス」参照

① 精神科医師によるSV体制の検討

精神科医師によるSVを受けられる体制を整備した。

その他、虐待対応にかかるSV同様、権利擁護支援センターにて調整予定。

② 介入拒否ケース対応についての研修実施

実施日：R7年1月27日および3月6日（予定）

目的：「関わり困難な人への支援」をテーマに、本人が求めるニーズと支援者が考えるニーズのミスマッチをなくすために、「本人中心のアセスメント」の重要性や手法等について学ぶこと。

③ 介入拒否ケース対応においてのチェックシートづくりを検討

R6年3月の横レビュー会議で「介入拒否ケース」を振り返り（蓄積し）、令和6年度にチェックシートづくりを実施中。

（３） その他

・縦レビュー会議実施にかかる課題

個別ケースから要因を分析し、地域課題化する思考を学ぶ必要がある。

<取組>

「システム改善・資源開発検討会議（縦レビュー会議）にかかる研修」を実施。

<研修目的>

個別事例への対応から地域課題を抽出する意義、求められる視点や思考の流れを理解する。

<研修概要>

日時：令和6年8月27日（火）午後1時30分～午後3時30分

場所：市役所消防庁舎3階多目的ホール

参加機関：高齢者生活支援センター、障がい者基幹相談支援センター、権利擁護支援センター、障がい福祉課、高齢介護課

参加者数：28名